

ジャパンクラブ NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jc-sf.org • jc-sf@sbcglobal.net

6 月度理事会議事録

「第14回ジャパンクラブ定期総会」詳細決定

6月の理事会は、6月3日(水)6時30分から7名の理事の参加のもと開かれました、討議内容は下記の通りです。

催事報告と予定について

1) ジャパンクラブ・講習会「気の力と免疫力」(報告)

さる5月20日、ジャパンセンター・ユニオンバンク社交室で開かれた「気の力と免疫力」(講師・ガワー有子さん)は16名もの受講者が集まり、常日頃健康についていろいろと気になっている事柄を「気の力」「免疫力」の観点から説明していただき判りやすい講習会でした。

2) ジャパンクラブ・ゴルフ大会について決定事項の確認

ウイローパーク・ゴルフ場で6月29日(日)開催、9時30分集合、10スタート、会費は\$65.00です。ご質問等は沖山理事迄。

3) 第14回ジャパンクラブ定期総会

7月20日(日)午後5時から桑港寺(無料駐車場があります)地階のホールを借りて開かれます。同封の参加申し込み用紙に記入の上ぜひ大勢の会員の参加を希望します。

今回は糸井領事の後任として赴任されました小川康弘領事が今迄の任地ジャカルタを始めそれぞれ任地であった東南アジアの国々についてお話をしていただける事になっています。

さらに、総会に引き続き懇親食事を開きます。会員の諏訪さん(コンコード諏訪レストラン)提供のレスピーをもとに作られたアペタイザーから始まり、サラダ、肉料理、魚料理などなど、料理研究会メンバーにより会場で作られる心のこもった暖かでおいしい料理が予定されています。

(2面に詳しい説明があります)

4) ピクニック

マックニャー・ビーチで8月24日に開催予定、昨年好評だったスポットにジャパンクラブとして既に予約いたしました。

5) ガレージセール

昨年5月に行ったものと同様なガレージセールを8月2日(土曜)に開催する事を決定、詳細はこれから北理事を中心に決定される。

品物をより多く集める事がこのガレージセールを成功させる最大の課題です。会員の皆さん、あるいはお友達でこれは使わないからドネーションしても良いというものがありましたら一品でも結構です下記のガレージセール担当までお知らせください。当日ガレージセールで掘り出し物を見つけにくる時にドネーションの品物をお持ちいただいても結構です。

日時: 8月2日(土)8:30-4:00時

場所: 個人宅 2717 Trousdale Dr. Burlingame

対象ドネーション品物: 使用可能な家庭用品、オフィス用品、Toy、衣類、家具、スポーツ用具、本、アート物品、プラント、その他

お引き受けできない品物: テレビ、コンピューター及びモニター、大型家具(ソファ、ベッド等)

責任者: 北(650)714-5958・古田(650)341-7857

事務局からのお知らせ

- ・5月26日、コルマ日系人墓地でのメモリアルデー式典に参加
- ・6月3日、第8回海外安全対策連絡協議会に出席
- ・7月の理事会は7月2日(水)午後6時30分、日米会会議室

在サンフランシスコ日本国領事館

光岡英行首席領事 着任

「いやあ、噂に聞いてはありましたがさすがに清潔で美しい町並み、それに気候も良いサンフランシスコで仕事ができる事を喜んでます」6月5日、新勤務地に着任された総領事館首席領事光岡英行さん、開口一番のコメント。

外務省きっての中国語のスペシャリストとして入省以来、上海、北京、香港そしてサンフランシスコ着任直前迄瀋陽(旧奉天)と長い中国勤務の中、ホノルル、アトランタの日本総領事館にもそれぞれ一年あまり在任され、今回で米国は3回目「過去2回の米国勤務は研修のようなもので本格的に仕事するのは初めてのようなもの、西も東も判りませんが周囲の状況や多くの人のアドバイス等を良く聞き仕事に励みたいと思っています」と静かな口調の中にもやる気をのぞかせております。

大阪外語大学を中退し中国の大学を経て外務省に入省、ご家族は夫と2人の娘さんの4人家族、中国は単身赴任で奥さんと次女は日本、長女の方はロス近郊の大学生活と3カ所に分かれての生活でしたが、近々次女の方もロス近郊の大学に入られるとかで、じきに新任地で皆さんと一緒にされる事を楽しみにしておられる様子でした。

大阪市出身、54歳、趣味は少ないのですが年中プレーできるゴルフでも又始めようかとの事。



第8回海外安全対策連絡協議会

在サンフランシスコ日本国総領事館 2008年6月3日

6月3日(火)第8回になる海外安全対策連絡協議会(海安協)が開かれ、長嶺総領事の挨拶に続いてサンフランシスコ市のDEM(Department of Emergency Management)による災害時の安全対策等についての説明、質疑応答等がありました。緊急時の連絡網の整備とその保守を怠らない事、事件や事故の被害者とならない為の注意と同時に飲酒運転やドメスティック・バイオレンスなどで加害者となる危険についても認識してほしいなどの要望がありました。

第57回メモリアルデー式典

コルマ日系人墓地 5月26日

5月26日(月)コルマ日系人墓地に於いて第57回の式典が長嶺安政総領事ご夫妻、小川康弘領事を始め各団体の代表など大勢の参加のもと開かれました。

ジャパンクラブから古田紘一事務局長が参加しました。



第14回

「定期総会と懇親食卓会」

第14回となる今年のジャパンクラブ定期総会は、会員同志の親睦をテーマに総会の後の会食に力を入れ、和やかに語り合う事を目的に開催いたします。

日時： 7月20日（日）午後5時開会、6時から会食

会場： 桑港寺地下ホール、サターとラゲーナのコーナー
入り口はサターとポストの中間「Hemlock」と云う路地をどうぞ。パーキングスペースは十分あります（無料）

会費： 食卓会に参加される人のみ一人 \$ 25.00

今回の総会のメインになる食卓は、キッチンが使用できる会場だけに暖かい食卓の数々が家庭料理研究会のメンバーが腕によりをかけて調理、サーブされます。

アパタイザーはコンコードの諏訪レストランのオーナーシェフでジャパンクラブ会員でもある、優れた日本料理人として認証された包友会々長、諏訪敏郎さん考案のオリジナルの品も登場、楽しい食卓会に花を添えてくださいます、大いに期待してください。会員の方は是非ご夫婦で、あるいはジャパンクラブにご興味のあるお友達をお誘いください、ただし会員以外の参加者は6時からの食卓会のみ参加となります。

食卓の準備の都合で、参加申し込みは6月30日を締切りといたします、同封の申し込み用紙にご記入の上、参加費を添えて事務局迄郵送してください。チェックの宛先は“Japan Club”です。

ガワー有子さんによる講習会
「気力と免疫力」

ジャパンセンター紀伊国屋ビルでアキュパンクチャーを開業しているガワー有子さんを講師に「気力と免疫力」と題した講習会を5月20日（火）に開きました、16名もの方々に参加され、歯切れの良い話し方と判りやすい説明に受講後は全員一段と元気になったように思います。

免疫力の話から入った講習会は、白血球の中のリンパ球さらにその中の「T細胞」「B細胞」「NK細胞」等難しいお話かと思われましたが判りやすく説明され、さらに「気」の話に入ると「気持ちの持ち方」一つで大きく変わる事、「手」「足」「耳」のつぼの話はさっそくその場で全員が試してみました。



講習会会場の一部

尚ジャパンクラブでは、今年から会員相互の交流と親睦をかねて少人数でも開催できる様々な催物や企画を積極的に行う事にしております。会員の皆さんで趣味の集いや、こんな講習会をしてほしい等の希望があればどしどし事務局にご意見をお寄せください。

連載第3回（5月号の続き）

「セキュリティとは一体何か」

セキュリティを考えるうえにおいては、その組織における「オペレーション」という概念が欠かせません。そして、このオペレーションを遂行するのに必要不可欠なのが、前回述べた「財産」であり、その組織における「守るべきもの」なのです。「守るべきもの」はなぜ守る必要があるのでしょうか？ それはそれが守るべきものが何らかの要因によりダメージを受けるとその組織におけるオペレーションが回らなくなるからです。

（このように考えると、「米国のオペレーションを阻害する原因に対応するための省」と、DHSについて、より実際に近い解釈をすることができるようになります。）

個人のプライベートな生活という観点では、組織とは「家庭」であり、オペレーションに相当するものは、家庭における「日々の平穏な生活」と言えます。すなわち、個人の生活におけるセキュリティとは「起こるかもしれない色々な出来事に影響されず、平穏な日々の生活が続くこと」と定義できます。

「起こるかもしれないいろいろな出来事」のことをインシデントと呼びます。窃盗被害（泥棒）、火災、自然災害、病気、怪我等が、家庭生活を送るうえでのインシデントの代表格になるでしょう。これらのインシデントが現実のものとなると、生活環境や健康といった財産が影響を受け、それによって家庭における「日々の平穏な生活」というオペレーションが回らなくなります。

泥棒が話題に出ると「わが家には盗られるものがない」と言われる方がおられますが、泥棒によって損なわれるものは、本当は金品ではなく、「日々の平穏な生活」なのです。一度、泥棒に入られると、物理的に何も盗られなかったとしても、精神的なダメージが先に立ち、安心して過ごすことができなくなってしまいます。これは、泥棒に限らずインシデント全般に言えることです。個人の生活にとって、インシデントとは「日々の平穏な生活」を損なう出来事すべてなのです。その意味で、個人の生活という分野においては、「日々の平穏な生活」そのものがセキュリティであると言っても良いのかも知れません。

皆さんのご家庭において「日々の平穏な生活」とはどういう状態でしょうか？ ほとんどの人は、「日々の平穏な生活」については、あって当たり前だということもあり、なんとなく思っているだけで、明確に考えたことはないのではないかと思います。しかし、あって当たり前だと思っている「日々の平穏な生活」は、個人が生活するうえでのセキュリティそのものなのです。

日本や米国にとどまらず、世界の至るところにおいて、犯罪だけでなく地震・風水災を始めとする天災や、人為的事故が報告されるようになってきました。このようなインシデントが発生し、被害者となる前に、読者の皆さんのご家庭で、何らかの対策を施すことで、将来遭遇するかもしれない被害を小さくすることができるのです。自分だけは被害に遭わないという根拠のない思い込みは捨てて、出来るところから対策を行ってください。この対策とは、物的なものにとどまらず、心構えや家族で決めておかなければならない事項の再確認等を含みます。

「日々の平穏な生活」についてはっきりとした考えを持つことが、安心に至るための本当の意味での基点であり、ご家庭におけるセキュリティについて考えることになるということを忘れないでお願いいたします。

セコム I S 研究所 セキュリティコンサルティンググループ
甘利康文

今回迄3回（4ヶ月）にわたって掲載されてきました本連載は
今回で終わります、資料を提供して下さったセコム I S 研究所
の杉井清昌氏、甘利康文氏に感謝いたします。

8月2日（土）グラーゼールを開きます

一面の議事録記事をご覧ください・使わないもの等のドナーションを願います